



「官民による若手研究者発掘支援事業における 研究開発テーマの実用化に向けたマッチング支援」

公募説明資料

2021年5月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
新領域・ムーンショット部

「官民による若手研究者発掘支援事業」の概要①

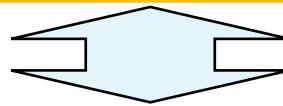


■ 背景(産業技術開発の現状と課題)

産業界

- 世界的に技術革新スピードが加速している
(破壊的イノベーションの進行)
- 社会変化に基づくビジネスモデルの変化
(多角化・新領域開拓のニーズ)

異分野を含めた外部リソースから、創造的な基礎～応用研究シーズの活用が必要



現状

我が国における企業の総研究費に占める大学への研究費の拠出割合(約0.4%)は、主要国(例:米…約1.0%、独…約3.7%*)と比較して低く、産業界が大学の機能・リソースを十分に活用できていない状況

* OECD「Research and Development Statistics」
に基づき経済産業省算出

大学等

- 多くの公的研究資金において短期的成果が求められる中で、実績の少ない若手研究者が自律的に研究開発を実施するための環境の整備が十分でない面がある

若手研究者の創造的な基礎～応用研究シーズを、社会・産業のニーズに合致させるための支援が必要



官民が協調して大学等の有望な若手研究者・シーズ研究を発掘し、これを企業の研究開発や事業活動に早期に結びつけるエコシステムを構築することで、

⇒世界最高水準のイノベーションを実現
⇒我が国の地域レベルでのイノベーション創出
⇒若手研究者が大学等と企業の両方へキャリアを模索すること

等が期待される

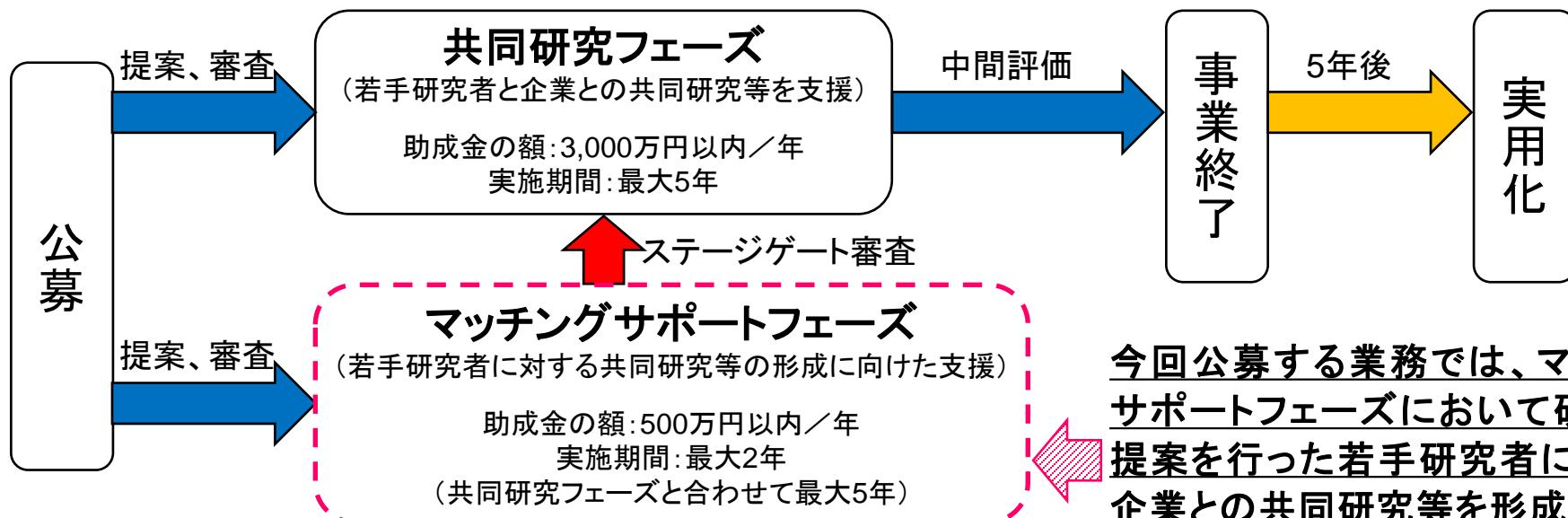
「官民による若手研究者発掘支援事業」の概要②



■ 目的

実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等※1に所属する若手研究者※2を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等※3の形成を促進する等の支援をすることにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的とする。

■ 事業スキーム



※1 国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

※2 事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位を取得、又は大学等の博士後期課程に在籍している者で、かつ45歳未満の研究者

※3 日本国に登記されている企業(その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの)と、実用化に向けた取り組みとして共同研究、受託研究、技術指導、博士後期課程を対象とした研究インターンシップ、クロスアポインメント制度の活用等を行うもの

今回公募する業務では、マッチングサポートフェーズにおいて研究開発提案を行った若手研究者に対して、企業との共同研究等を形成するためのマッチング支援を実施します。

業務内容

今回公募する業務では、以下の項目について実施します。

仕様書 P.2-7

- ① イベント業務
- ② マッチング支援業務
- ③ 各種情報発信・情報収集業務
- ④ 自立的に進展する産学連携の仕組み
づくりに向けた検討
- ⑤ その他



- ★ 業務については、全国を6ブロックに分け、各地域ブロックにおいて実施することを想定しますが、若手研究者と企業とのマッチングは同じ地域ブロック内のみに留まらず、ブロック間の垣根を越えたマッチングを目指します。
- ★ マッチング支援の実績及び広く企業にアプローチ可能なネットワーク、情報量を有する複数の連携機関を本業務の実施体制に加えるなどにより、多様な研究シーズ及び企業ニーズにも対応する効率的なマッチング手法を検討し、全国規模で実践するための工夫を行うこととします。
- ★ 業務の実施にあたっては、適宜NEDOと協議の上進めることとします。

業務内容(詳細①)

① イベント業務

若手研究者が有する有望な研究シーズを広く全国の企業に周知することで、若手研究者と企業との共同研究等の形成につながる機会の創出を行う。

a. 企業に研究シーズを周知するためのイベントの開催

→助成事業者からの研究開発提案(NEDOから別途情報を提供)を基に、研究シーズを広く全国の企業に周知し、研究シーズに対する関心事項・要望等を収集するためのイベントを開催する。

なお、当該イベントにおいては、研究シーズの概要を広く企業に周知することを目的とするため、助成事業者の負荷を考慮した上で、例えば助成事業者による研究シーズのプレゼンテーション等は行わず、本業務に採択された事業者により研究シーズを周知することもできることとする。

<2021年度> 4回程度

<2022年度> 8回程度

b. マッチングイベントの開催

→企業に向けた助成事業者及びマッチング支援候補者による研究シーズのプレゼンテーション、助成事業者及びマッチング支援候補者と企業との個別の意見交換等を行うマッチングイベントを開催する。

<2021年度> 2回程度

<2022年度> 6回程度

※a、bともにオンラインシステム活用等の工夫を行うこと。

※開催の回数は、今後の新規公募の状況(助成事業者及びマッチング支援候補者の件数)により変更する可能性がある。

業務内容(詳細②-1)

仕様書 P.4

② マッチング支援業務

若手研究者が有する有望な研究シーズに対する企業の関心事項・要望等の取りまとめを行い、若手研究者と企業との共同研究等の形成に向けた橋渡しを行う。実施にあたっては、若手研究者が所属する機関の产学連携部門等の協力を得つつ進め、产学連携部門等におけるノウハウ蓄積につながることを考慮すること。

a. 研究シーズのWebサイト掲載

→マッチングサポートフェーズに提案のあった研究シーズを広く全国の企業に効率的かつ効果的に周知することを目的に、掲載を希望する全ての提案者の研究開発提案の内容をシーズリストとしてまとめ、企業が容易に閲覧できるWebサイトのコンテンツを作成し、NEDOが指定するWebサイトに掲載する。

※Webサイトのサーバー管理はNEDOにて行う。

b. 企業の関心事項・要望等の取りまとめ

→各種イベントや研究シーズを掲載したWebサイト等を活用して、企業の関心事項・要望等を収集し、収集した情報を取りまとめ、助成事業者の研究シーズと併せてリスト化しNEDOに報告する。関心事項・要望等の収集の際には、共同研究等及び実用化の検討に資する情報を企業からヒアリングし、助成事業者と企業との効率的な情報交換を促進すること。

※企業からの関心事項・要望等の収集については、NEDOが提供する研究開発提案と同数以上を目処に収集すること(研究開発提案1件につき、1件以上の関心事項・要望等を収集することが望ましい)。

業務内容(詳細②－2)

仕様書 P.4-5

② マッチング支援業務

c. 関心を示した企業との連絡調整業務

→研究シーズに対して関心を示した企業と助成事業者との連携、意見交換等を推進することを目的に、助成事業者及び企業の双方への連絡調整を行う。

※助成事業者との連絡調整は原則NEDOが行うこととするが、業務の効率化の観点から、本業務に採択された事業者から直接連絡調整を行う場合もある。

d. 伴走型のフォローアップ支援

→例えば企業の関心事項・要望等の解釈と研究開発計画への反映指導、研究開発出口イメージの提案(PRする企業分野・業界の選定)等の共同研究等の形成に向けた助言・提言を行う。さらに、採択決定後もしくは交付決定後に助成事業者ヒアリングを実施することで、研究開発の内容や出口イメージ、希望する企業との共同研究等のイメージ等を早期に把握し、マッチング支援の方向性を検討すること。

※共同研究等の形成に向けた助言・提言については、必ず助成事業者が所属する機関の产学研連携部門等との協力の下実施すること。

業務内容(詳細③、④)

仕様書 P.5-6

③ 各種情報収集・情報発信業務

→各種イベント及び集合研修等の開催時や、大学等(若手研究者、产学連携部門等)及び企業と面談等を行う機会を活用し、企業が大学等(若手研究者)に求める共同研究等の動向、技術領域や研究テーマ、具体的な研究者像等の情報のヒアリング・取りまとめを行い今後のマッチング促進につながる情報として整理する。

さらに、「官民による若手研究者発掘支援事業」に係る事業制度、マッチング支援の内容、公募情報等を大学等及び企業へ周知する。この際、新たな研究開発テーマの発掘に向けて、本事業への応募を効果的に促進する方法を工夫・検討すること。**なお、新たな研究開発テーマの発掘にあたっては、工学系等の分野に限定せず、実用化に向けた理学系や人文社会系等と連携する研究開発テーマについても想定すること。**また、研究シーズの応用について、比較的容易に想定できる出口イメージにとらわれることなく、分野横断的な出口イメージを含めた企業との連携を促進する方法を考慮すること。

④ 産学連携エコシステム形成に向けた検討

→産学連携によるイノベーションを推進することを目的に、産学連携が自立的に進展する仕組みづくりのための仮説と対応案を検討した上で、大学等の産学連携部門等における具体的なアクションを得るために示唆を導き出し、NEDOに対して提案する。さらに、可能なものについて実際のアクションにつなげる。

※仮説の例示については、「仕様書」を参照すること。

業務内容(詳細⑤－1)

仕様書 P.6-7

⑤ その他

a. 集合研修等の開催

→共同研究等の形成に向けた研修(成功事例の紹介等)、産学連携・オープンイノベーション講習会等を合わせて8回程度(2021年度4回程度、2022年度4回程度)開催する。

※当該マッチングをより効果的に実施することを目的に、例えば産学連携・オープンイノベーション等の分野を専門とする外部専門家に講義を依頼するなど、マッチング支援の質と効果を高める工夫をすること。

※オンラインシステム活用等の工夫を行うこと。

b. 各種情報の取りまとめ

→助成事業者を含む全ての提案者(研究シーズのWebサイト掲載を希望する若手研究者に限る)、研究シーズに対して関心を示した企業のそれぞれの産学連携に係る相談窓口(連絡先)を取りまとめる。

c. 人材の確保・配置

→若手研究者と企業との共同研究等を推進するため、若手研究者及び企業と企業と適切に意見交換ができる人材(相談窓口)を、各地域ブロック毎又は若手研究者毎に配置する。

d. NEDOが実施する会議等への参加

→NEDOが川崎及び各地域ブロック等において開催する会議、委員会等へ参加する(2回程度を想定)。

業務内容(詳細⑤－2)

仕様書 P.7

⑤ その他

e. 「官民による若手研究者発掘支援事業」新規公募採択に関する支援業務

→若手研究者の新規公募(**2021年度及び2022年度各1回を想定**)において、若手研究者がNEDOに対して提出する提案資料の取りまとめ及び必要な分析を行う。具体的には、提案資料の不備確認、受付番号の採番、各種提案資料情報のExcelファイルへの転記及び整理等を行う(各種情報の転記及び整理を行うExcelファイルの様式については、NEDOと協議の上決定すること)とともに、提案者の属性(役職、所属機関の所在する地域ブロック等)及び提案のあった技術分野等の傾向に関する分析を行う。

※最終的には、提案資料、取りまとめたExcelファイル、傾向分析の結果を電子データでNEDOに納入することとし、提案資料においては印刷・ファイリングした紙媒体も納入することとする。

マッチング支援フロー

仕様書 P.11

「官民による若手研究者発掘支援事業」
マッチングサポートフェーズに提案 (提案者)

研究開発計画等の工夫により
企業との共同研究等の形成に
繋がる可能性のあるもの

<マッチング支援内容：パターン①>
★助成対象 (助成事業者)

<マッチング支援内容：パターン②>
★助成対象外 (マッチング支援候補者)

<マッチング支援内容：パターン③>
★助成対象外

研究シーズのWebサイト掲載 (②-a) 対象：全ての提案者（最大240件程度想定）

マッチングイベント (①-b)
対象：助成事業者、マッチング支援候補者（最大150件程度想定）

研究シーズを周知するためのイベント (①-a)
関心事項・要望等の取りまとめ (②-b)
企業との連絡調整業務 (②-c)
伴走型のフォローアップ支援 (②-d)
集合研修等 (⑤-a)
対象：助成事業者（最大120件程度想定）

支援実施項目

実施期間・予算規模

公募要領 P.3

■ 実施期間

NEDOが指定する日から2022年9月30日

■ 予算規模

300百万円を上限とする(イベント等に係る費用を含む)。

なお、Webサイトのサーバー管理はNEDOにて行うため、管理費は含まない。

また、助成事業者及びマッチング支援候補者等のマッチングイベント、集合研修等への参加に
係る旅費(2百万円程度の実費相当額)も必要概算経費に積算すること。

応募要件

応募の対象は、下記の全ての要件を満たすことのできる、単独ないし複数（連名）で受託を希望する企業等とします。

なお、**応募にあっては、全体（全国）提案のみを対象とします。各地域ブロック単位での部分提案は認められません。**

- a. 全国の各地域ブロックに所在する大学等、企業の情報に精通していること。また、大学等及び企業の产学連携部門等と連携できること。
- b. マッチング支援の実績及び広く企業にアプローチ可能なネットワーク、情報量を有する複数の連携機関を本業務の実施体制に加えるなどにより、多様な研究シーズ及び企業ニーズにも対応する効率的なマッチング手法を検討し、全国規模で実践するための工夫を行うこと。
- c. 当該業務又は関連業務についての実績を有し、かつ目標の達成及び業務の遂行に必要となる組織、人員等を有していること。
- d. 当該業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- e. NEDOが業務を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。
- f. 複数（連名）で提案する場合、当該応募要件を満たすことのできる体制を構築すること（再委託、外注を含む）。

留意事項①

公募要領 P.5

■ 提出にあたっての留意事項

- ① 提案書は日本語で作成してください。
- ② 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案資料が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- ③ 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。(受付番号の表示は受理完了とは別です。)
- ④ 入力・アップロード等の操作途中に提出期限を過ぎて操作が完了できなかった場合は、受け付けません。
- ⑤ 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- ⑥ 提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- ⑦ 受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。

留意事項②



公募要領 P.5-6

■ 提出にあたっての留意事項

- ⑧ 本業務の一部を再委託する場合は、再委託の額の制限等、調査委託契約約款に記載の関連する条項を遵守する必要があります(再委託の額は、NEDOと委託先との契約金額の50%未満です)。
- ⑨ 委託先の選定に係る審査は、公募要領(P.6)「7-2. 審査基準」に基づき受理した提案資料を審査しますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。

委託先の選定(審査基準)①



公募要領 P.6-7

■ 採択審査の基準

- a. 目的・目標・実施内容が仕様書の内容と合致しているか
- b. 提案する方式・方法に工夫があり優れているか
- c. 業務実施における課題とその解決に向けた取り組みの内容が明確かつ実現の可能性があるか
- d. 業務を遂行するための高い能力を有するか(関連する実績等)
- e. 提案する実施計画(実施体制、人員等を含む)が適切か
- f. 応募者が当該業務を行うことにより自立的に進展する産学連携の仕組みづくりは期待できるか
- g. 総合評価

委託先の選定(審査基準)②



公募要領 P.7

■ 契約・助成審査委員会の選考基準

- a. 調査の目標がNEDOの意図と合致していること
- b. 調査の方法、内容等が優れていること
- c. 調査の経済性が優れていること
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること
- e. 当該調査を行う体制が整っていること
- f. 経営基盤が確立していること
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること

スケジュール

公募要領 P.8

<公募～業務開始>

2021年5月21日(金)

公募開始

2021年6月24日(木)

公募締切(12時アップロード完了)

※提出書類は公募要領P.5をご参照ください

2021年7月下旬(予定)

採択審査委員会(外部有識者による審査)

※必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります

2021年8月中旬(予定)

契約・助成審査委員会

2021年8月下旬(下旬)

委託先決定、公表(プレスリリース)

2021年9月頃(予定)

契約

2021年10月1日(金)

業務開始

【参考】マッチングサポートフェーズについて①



■ 事業内容

大学等に所属し、企業との共同研究等の実施を希望する若手研究者が実施する、産業界が期待する目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を実施するものについて助成します。また、企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援※を実施することで、共同研究フェーズにおける企業との共同研究等の実施を目指します。

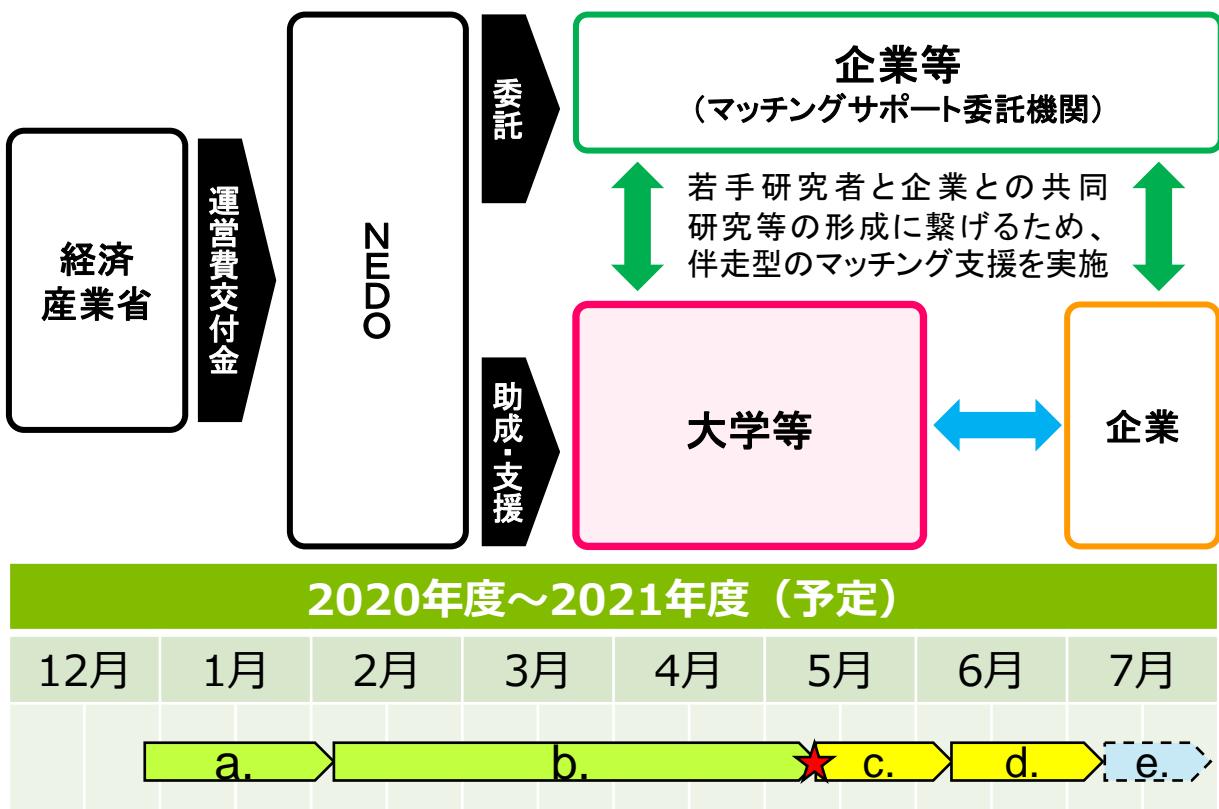
※NEDO及びNEDOがマッチング支援業務を委託するマッチングサポート委託機関により、伴走型のフォローアップ等の実施を予定。



【参考】マッチングサポートフェーズについて②



■ 事業スキーム及びスケジュール



- a. 公募期間
- b. 採択審査
- ★ 採択決定
- c. 交付申請書提出
- d. 交付決定
- e. 事業開始

- 採択が決定された提案については、NEDOから提案者に通知します。
不採択の場合も、不採択理由を添えてその旨を通知します。
なお、通知の時期は、2021年5月中旬頃を予定しています。
- 採択が決定された提案に関しては、助成事業者名(所属機関名)、研究開発テーマ名等の情報をNEDOウェブサイトに公表します。

- 応募を受け付けた提案(採択に至らなかった提案を含む)について、マッチング支援を目的として個人情報以外の提案内容をNEDOウェブサイトに掲載し、研究シーズ(研究開発の内容)を広く企業に周知して、企業からの関心事項・要望等を収集します。
- 採択審査において、企業との共同研究等を形成する可能性があると評価された提案(採択に至らなかった提案を含む)については、マッチングイベント等(共同研究等の形成に向けた研修・講習会等含む)に参加していただきます。
- 研究シーズのNEDOウェブサイト掲載及びマッチングイベント等への参加の他、マッチングサポート委託機関が収集した企業からの関心事項・要望等を踏まえ、企業との連携促進、共同研究等の形成に向けた助言・提言等を実施します。

【参考】マッチングサポートフェーズについて③



■ 対象事業

産業技術分野及びエネルギー・環境分野の目的志向型の創造的な基礎又は応用研究で、
産業界が期待する研究開発であり、研究開発の成果が産業に応用されることを目的とし、
今後企業との共同研究等を目指すもの。

但し、「医薬・創薬分野、医療機器分野」※に限定した応用を目指す研究開発提案は対象外。

※医薬品や医療機器として、審査・承認を受けることを前提としたもの

■ 助成対象費用

当該助成事業に必要な経費のうち、「官民による若手研究者発掘支援事業費助成金交付規程」
に定める直接経費及び間接経費の範囲とする。

なお、マッチングイベント等(共同研究等の形成に向けた研修・講習会等含む)への参加に係る
旅費は、実費相当額を別途精算可能とするため、助成対象費用への計上は不要。

【参考】マッチングサポートフェーズについて④



■ 応募要件(対象者)

マッチングサポートフェーズにおける提案者は、以下の要件を全て満たしていることが必要です。

- a. 助成事業の責任者(主任研究者)となること。
- b. 助成事業の開始年度の4月1日時点において、**博士号の学位を取得、又は博士後期課程に在籍している者**で、かつ**45歳未満**であること。
- c. 日本国内に所在する大学等に所属しており、交付決定までに所属する大学等との間で守秘義務を含む雇用契約が締結されていること。
- d. 企業との共同研究等に向けた研究シーズを有し、かつ共同研究等を希望し、共同研究フェーズを目指す者。
- e. NEDO及びマッチングサポート委託機関が実施するマッチング支援を受けることを希望する者。
- f. 企業との共同研究等の形成に向けて、所属する機関の产学連携部門等と連携し、協力を得られる体制を構築できること。

問い合わせ先



公募要領 P.12

説明会は現時点で開催する予定はございません。

当該業務の内容、応募に係る具体的な手続き、提出資料の記載方法等のお問い合わせは、以下の問い合わせ先までE-mailでお願いします。

但し、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

新領域・ムーンショット部 赤木、立花、山崎

E-mail : wakate-2@nedo.go.jp

